

科目ナンバリング		U-LAS70 10001 SJ50					
授業科目名 <英訳>	ILASセミナー：甲殻類学入門 ILAS Seminar :Introduction to carcinology			担当者所属 職名・氏名	フィールド科学教育研究センター 教授 下村 通誉		
群	少人数群	単位数	2単位	時間数	30時間	授業形態	ゼミナール(対面授業科目)
開講年度・ 開講期	2024・ 前期集中	受講定員 (1回生定員)	5(5)人	配当学年	1回生	対象学生	全学向
曜時限	集中	教室	未定			使用言語	日本語
キーワード	甲殻類 / 形態学 / 分類学 / 生態学						
[授業の概要・目的]							
甲殻類は世界から67,000種が知られている節足動物門で2番目に大きなグループである。1番大きなグループである昆虫は主に陸上で栄えているが、甲殻類は主に川や海などの水圏で繁栄している。甲殻類には大型のエビ・カニ・ヤドカリ類以外にも多くの小型の種を含んでおり、それらの形態や生活様式は様々である。 本ILASセミナーでは主にフィールド調査と形態観察を行い、甲殻類の多様性を学ぶことを目的とする。							
[到達目標]							
・甲殻類の機能的な形態と適応的進化について理解する。 ・フィールド調査の基本を学ぶ。 ・課題に対して自主的、継続的に取り組む能力を養う。							
[授業計画と内容]							
4月中旬に農学部総合館でオリエンテーションを行う。							
実習は4月27日(土)～4月29日(月・祝)(予定)の日程で、和歌山県西牟婁郡白浜町にある京都大学瀬戸臨海実験所にて行う。 実験所周辺の干潟、砂浜、岩礁海岸で甲殻類の採集調査とフィールド観察を行い、形態と生活様式の多様性について学ぶ。また、プランクトン採集によって小型甲殻類を採集し、カイアシ類や十脚類の幼生の形態や生活史について理解する。 実習期間中にレポート課題を提示し、実習終了時にレポートを提出する。 実習の詳細については初回オリエンテーション時に受講者と調整を行う。							
[履修要件]							
特になし							
[成績評価の方法・観点]							
実習への積極的な参加(50点)、レポート(50点)により評価する。							
レポートは調べた情報の羅列ではなく、自分で考えた内容を高く評価する。							
[教科書]							
甲殻類の同定に必要な図鑑等はこちらで準備します。甲殻類の体制(ボディプラン)を理解するためのプリントを配布します。 ILASセミナー：甲殻類学入門(2)へ続く↓↓↓							

ILASセミナー：甲殻類学入門(2)

[参考書等]

(参考書)

石川良輔(編)『節足動物の多様性と系統』(裳華房)ISBN:978-4785358297

[授業外学修(予習・復習)等]

オリエンテーション時に、実習までに予習すべきことを指示します。

[その他(オフィスアワー等)]

- ・ 学生教育研究災害傷害保険等の傷害保険へ必ず加入してください。
- ・ 交通費・食費は受講生負担となります。
- ・ 宿泊は瀬戸臨海実験所の宿泊棟を利用します。シーツのクリーニング代として900円を徴収します。
- ・ 実習中、わからないことについては積極的な質問を期待します。